

兵庫県立兵庫津ミュージアム

第1回兵庫学検定 結果概要

令和6年3月11日

令和6年2月12日（月・祝）に、兵庫県立兵庫津ミュージアムは第1回兵庫学検定を実施しました。当検定は、兵庫県の自然・歴史・社会・文化・防災・観光などに関する設問50問を4択方式で出題。1問2点で100点満点、50問中30問以上の正解（60点以上）を合格とします。

第1回兵庫学検定の受検申込者は255人、受検者は223人でした。受検者の年齢は7歳から87歳までと幅広く、8人の小・中・高校生も検定にチャレンジしました。受検者の年代別プロフィールは、60代が最多の28%（62人）で、50代と70代がいずれも20%（45人）、40代が9%（20人）、30代が8%（17人）、20代が6%（13人）、80代が5%（12人）、10代と9歳以下が4%（9人）でした。受検者を居住地別にみると、兵庫県内が211人、県外（大阪府・京都府・愛知県・石川県）が12人でした。兵庫県内の受検者のうち最多は神戸市で56%（118人）。五国別に分類すると、摂津が84%（177人）、播磨が14%（29人）、但馬が1%（3人）で、丹波と淡路の受検者は各1人でした。

採点の結果、受検者223人のうち215人が60点以上を獲得して初級合格となりました。合格率は96%で、平均点は82点。2人の受検者が100点満点を獲得しました。また、本検定ではセミナー参加者に2点の加点を設けましたが、加点による合格者はありませんでした。今回の検定で初級に合格した人は次回検定で中級にチャレンジすることができます。

【結果の概要】

	申込数	受検者数	合格者数	合格率	平均点	最高得点
第1回結果	255人	223人	215人	96%	82点	100点

【受検者のプロフィール／年代別】

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	9人	13人	17人	20人	45人	62人	45人	12人
割合	4%	6%	8%	9%	20%	28%	20%	5%



[受検者のプロフィール／居住地別]

兵庫県内	211 人	神戸市	阪神間	播磨	但馬	丹波	淡路
		118 人	59 人	29 人	3 人	1 人	1 人
兵庫県外	12 人	大阪府 5 人・京都府 3 人・愛知県 2 人・石川県 1 人					

[得点分布]

受検者 223 人の平均点は 82 点で、得点最多層は 88-80 点で 77 人。80 点以上の得点者は合計 143 人で、全体の 64%を占めました。

100 点	98-90 点	88-80 点	78-70 点	68-60 点	58 点以下
2 人	64 人	77 人	51 人	21 人	8 人

※セミナーによる加点は除いています。

[設問の難易度]

解答の正答率をみると、正答率 80%以上の設問（平易であった設問）は 28 問（56%）で、正答率 59%以下（難しかった設問）は 5 問（10%）でした。なお、設問 41 番は解答選択肢に正解が含まれていなかったため、受検者全員を正解としました。したがって、下記の正答率データは総設問数が 49 問となっています。

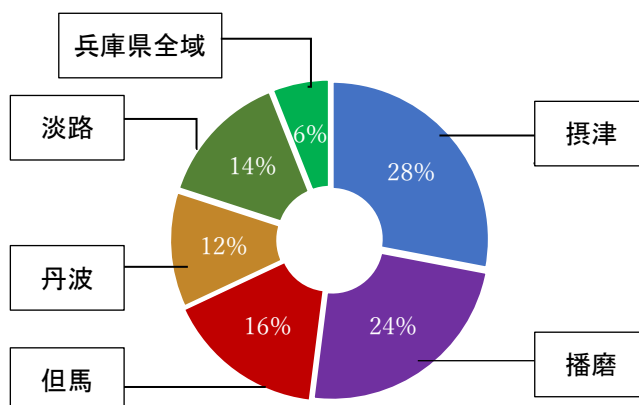
正答率	100%	99-90%	89-80%	79-70%	69-60%	59%以下
設問数	3 問	18 問	7 問	8 問	8 問	5 問

[設問の五国割合]

設問テーマを五国別に分類すると、摂津が 14 問、播磨が 12 問、但馬が 8 問、丹波が 6 問、淡路が 7 問で、兵庫県全域に関する設問が 3 問出題されました。五国別の正答率はおおむね 80%前後でしたが、兵庫県全域に関する設問は正答率 69%と、やや難問となりました。

	摂津	播磨	但馬	丹波	淡路	兵庫県全
設問数	14 問	12 問	8 問	6 問	7 問	3 問
設問割合	28%	24%	16%	12%	14%	6%
正答率	80%	76%	86%	84%	84%	69%

■ 設問の五国割合



[やさしかった設問と難しかった設問]

	設問	正答率
やさしかった設問	<p>[4] 阪神・淡路大震災（だいしんさい）からの復興のシンボルとして、神戸市長田区に建設されたモニュメントは、マンガ家・横山光輝（よこやまみつてる）の作品のキャラクター <input type="text"/> である。</p> <p>①鉄人28号 ②仮面ライダー ③ガンダム ④マグマ大使</p> <p>※上記のほか、設問 27 番・48 番も正答率 100%でした。</p>	100%
	<p>[1] 兵庫県の花はノジギク、県の木はクスノキ。では、県の鳥は次のどれか。</p> <p>①ヤマドリ ②コウノトリ ③ヒバリ ④ホオジロ</p> <p>※上記のほか、設問 6 番・11 番も正答率 99%でした。</p>	99%
難しかった設問	<p>[30] 2024（令和6）年現在、兵庫県内には29市12町、合計41の自治体が存在する。このうち最も面積が小さい自治体は次のどれか。</p> <p>①播磨町 ②福崎町 ③太子町 ④芦屋市</p> <p>※播磨町は9.13km²で、県内最小です。この設問は公式テキスト外から出題されました。</p>	43%
	<p>[36] 神戸市出身の日本画家で、竹内栖鳳（せいほう）に学び、大正・昭和期に「新南画」「新古典」と呼ばれる作品を世に送り出したのは次のどれか。</p> <p>①上村松園（うえむらしょうえん） ②伊藤深水（いとうしんすい）</p> <p>③菱田春草（ひしだしゅんそう） ④橋本関雪（はしもとかんせつ）</p> <p>※橋本関雪は1883（明治16）年、当時の神戸区（現・神戸市中央区）で生まれました。生誕地近くの神戸文化ホール東隣（大倉山公園内）には、「橋本関雪先生之碑」と彫られた顕彰碑が立っています。この設問は公式テキスト外から出題されました。</p>	28%